

本当に大切にしたい「その土地の個性とらしさ」をデザイン目線で案内するガイドブック、茨城版が制作決定！

茨城県の観光ガイドブック、取材候補先を地元民と考える公開編集会議10月17日(土)開催

D&DEPARTMENT PROJECT (商号: ディアンドデパートメント株式会社/東京都世田谷区) は、47都道府県それぞれにある「その土地らしさ」を、1県につき1冊ずつ、デザイン目線で紹介する観光ガイドブック『d design travel (ディデザイントラベル)』の29冊目となる『d design travel 茨城』を2021年2月に刊行 (3月全国発売) 予定です。この度、茨城号制作のキックオフとして、一般参加者が地域に根付いた「茨城らしさ」をデザイン視点で考え、ディスカッションし、取材候補先を挙げる公開編集会議を10月17日 (土) に茨城県水戸生涯学習センターで開催します。

公募で集まる地元住民を中心とした参加者が、「その土地が持つメッセージを伝えていること」「その土地の人がやっていること」「デザインの創意工夫があること」などの『d design travel』の取材対象選定の考え方を基準に、自分たちの住む地域の魅力や文化を見直し、観光/レストラン/カフェ/ショップ/宿泊/人物、の6つのカテゴリーに分かれてグループディスカッションをする、参加者と編集部が一緒に行う公開編集会議です。ここで集まる情報をもとに、編集部が10月から12月までの約2ヶ月間、現地での住み込み取材を実施。暮らすように県内を旅して、実際に体験し感動したものだけを紹介します。

その土地ならではの長く続いてきたもの、そして今後も大切に残していきたい独自の特性や風土が活きた「茨城らしさ」を探求し、定番の観光名所も、地元住民だからこそ知る魅力も、あるいは、地元では日常となり見過ごされてしまっていた所まで、日本各地を取材してきた編集部の“よそ者目線”を活かし、その個性を改めて見直し、1冊にまとめあげます。

本誌発売の際には、東京・渋谷ヒカリエ8階の「d47 MUSEUM」にて、誌面と連動した展覧会を開催する他、併設の「d47食堂」では、本誌の取材で新たに開発する「茨城定食」がメニューに登場。その他、掲載地を巡るスタンプラリーや、茨城県を題材にした新作落語を発表する「d47落語会」など、本誌だけに留まらず、様々な企画を東京・渋谷と茨城県内やオンラインで開催します。見て・触れて・食べて・笑って…立体的に、茨城県を感じ、旅したくなるきっかけをつくっていきます。

茨城県のデザイントラベルを考える『d design travel WORKSHOP IBARAKI』

日程：2020年10月17日 (土)

時間：14:00～16:30 (受付は13:30より)

場所：茨城県水戸生涯学習センター (水戸市三の丸1丁目5-38 3階)

参加費：無料

(参考資料として『d design travel』既刊号をご持参ください)

定員：40名

お申込み方法：以下、D&DEPARTMENT Webサイトより

https://www.d-department.com/item/DD_EVENT_23073.html

お問い合わせ：03-5752-0097 (d design travel編集部)

主催：いばらき県央地域観光協議会事務局

運営：D&DEPARTMENT PROJECT



【第1部】スライドトーク

日本全国をまわり取材を続ける『d design travel』編集部が「その土地らしさ」のを見つけ方について、近県の前例も交えてお伝えします。

【第2部】ディスカッション

観光、食事、カフェ、買い物、宿、人の6つのグループに分かれ、茨城らしさをディスカッションし、それぞれのグループで有力2か所を絞り込むワークショップです。



—本件に関するお問い合わせ—

D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 pr@d-department.jp

D&DEPARTMENT PROJECT

●d design travel

『d design travel (ディデザイントラベル)』は、47都道府県それぞれにある、その土地に長く続く「個性」や「らしさ」を、デザインの視点から選び出してまとめた、観光ガイドブックシリーズです。観光にデザインの視点を取り入れることで、観光を若返らせ、旅をするきっかけをつくり、新しい交流を促していきます。2009年に創刊し、47都道府県に1冊ずつ『d design travel』を出版するプロジェクトとして、これまでに28冊刊行しています。発売に合わせて、東京・渋谷ヒカリエおよび特集県内で、掲載内容と連動した展覧会、出版記念パーティーおよびトークショー、落語家・柳家花緑による特集する県をテーマにした新作落語を披露する落語会などの企画を多数展開。本誌の取材と、連動する各種企画を通して、47都道府県の独自の個性を改めて整理し、発信することで、主要都市だけでなく、日本各地にあるクリエイションを見つめ直し、その価値を継承する意識を持つきっかけを与える、これまでの観光ガイドブックには無い機能を持つ書籍です。

<d design travel 概要>

B5判変型／192頁／オールカラー／並製／日英併記／本体 1,900円（税込 2,090円）

全国の書店・ライフスタイルショップ・ミュージアムショップ・Amazon・D&DEPARTMENT 各店にて販売

●本誌刊行に合わせた連動企画例

1. 「d design travel IBARAKI EXHIBITION」 (東京・渋谷)

東京・渋谷ヒカリエ8階にある「d47 MUSEUM」で、本誌の内容を立体的に表現する展覧会を開催します。国内外から多くの人が行き交い、大規模な再開発で注目を集める渋谷駅に直結の施設で、茨城の新しい魅力をプレゼンテーションします。

本展覧会では、掲載地で実際に使用されている道具や備品、装飾品などを展示し、誌面から飛び出したような数々の展示品の独自のデザインを活かし、編集部が体験した茨城の魅力を再現します。

館内では、取材を通して出会った茨城らしいデザインと美味しい手土産が買えるストアがオープンする他、併設の「d47食堂」では、同店のディレクターと料理人が、地元住民へ取材しながら、名物や郷土料理を食べ歩いたり、生産者から直接製造工程や料理法を学び考案される「茨城定食」が期間限定メニューとして登場します。

2. 編集部の出版記念イベント (東京・渋谷、茨城)

編集部によるトークイベントや交流会を東京・渋谷および茨城県内にて開催します。

2ヶ月間の住み込み取材の様子をスライドショーで見せながら、取材の裏話や制作秘話も交えて、本誌の見所や現地での感動体験を編集部が紹介します。

東京会場では、郷土料理や地酒など茨城の食をコース仕立てで楽しめる企画も開催。茨城会場では、県内からの参加者と交流しながら、編集部が見出す茨城らしさが地元の人たちにはどのように映るのかなどを紐解きます。

本誌を通して、県内外からその土地らしさを考えるきっかけをつくっていきます。

3. d47落語会「茨城県」 (東京・渋谷、茨城、オンライン)

『d design travel』の発売に合わせて47都道府県を題材にした新作ご当地落語を、1県に1つずつつくる「d47落語会」。今回は茨城県をテーマにした噺を披露します。演じ手は落語家・柳家花緑、脚本は作家・藤井青銅。着物に座布団で演じる古典落語1席、洋服と椅子という現代スタイルの同時代落語での茨城県落語1席、茨城県落語の創作秘話を語るトークショーの3部構成です。

時代を越えて長く愛される日本の伝統芸能であり今も進化を続ける落語の、その文化を体験すると同時に、茨城県の個性や魅力を笑いを通して実感できる落語会です。東京・渋谷ヒカリエと、茨城県内、オンラインにて開催予定です。



※今後の社会情勢によって予定は変更になる場合がございます。最新情報はwebサイトやSNSでお知らせいたします。

D&DEPARTMENT PROJECT

●バックナンバー



写真左上より右に。鹿児島号、静岡号、東京号の表紙は改訂版。

- ・2009年 vol.1 北海道
- ・2010年 vol.2 鹿児島、vol.3 大阪、vol.4 長野
- ・2011年 vol.5 静岡、vol.6 栃木
- ・2012年 vol.7 山梨、vol.8 東京
- ・2013年 vol.9 山口、vol.10 沖縄、vol.11 富山
- ・2014年 vol.12 佐賀、vol.13 福岡、vol.14 山形
- ・2015年 vol.15 大分、vol.16 京都、vol.17 滋賀
- ・2016年 vol.18 岐阜、vol.19 愛知、vol.20 奈良
- ・2017年 vol.21 埼玉、vol.22 群馬
- ・2018年 vol.23 千葉、vol.24 岩手
- ・2019年 vol.25 高知、vol.26 香川
- ・2020年 vol.27 愛媛、vol.28 岡山

●編集長・神藤秀人(しんどう ひでと)

『d design travel』編集長/d47 design travel storeディレクター

1980年生まれ。2012年D&DEPARTMENT PROJECTに参加。『d design travel』の編集・執筆・写真撮影など制作の全般を担当する他、渋谷ヒカリエ・d47 MUSEUMで開催する『d design travel』と連動した展覧会の構成を担当。毎号、特集する県を車で走り回り、展示物をピックアップする旅にも出る。2020年10月から約2ヶ月間かけて茨城県に滞在して、最新刊「茨城号」を取材予定。



●『d design travel』クラウドファンディングによるサポーター募集

前回の岡山号の制作より、クラウドファンディングを本書シリーズの制作資金の重要な柱として位置づけ、『d design travel』の活動を必要としてくださる方々をサポーターとして募っています。

『d design travel』の本質は、単なる旅行ガイドではなく、旅を通して「地域で頑張っている企業やお店の姿を伝えていく」こと、そして「地域の“らしさ”や“個性”を守ろうと呼びかけていく」ことにあります。デザインが、意匠や美しさではなく、暮らすことに重きを置いた文化存続活動そのものであるように、編集部が目指しているのも、一種の「文化活動」です。

ただ資金を調達するだけの手段ではなく、ロングライフデザインを応援しようと同じ方向を目指す仲間とコミュニティをつくり繋いでいくことを目的としています。

【皆の応援資金で『d design travel』を作り続けたい vol.29 茨城号：READYFOR】

募集期間（予定）：2020年10月20日（火）～2020年12月4日（金）

URL： <https://readyfor.jp/projects/dibaraki>（10/20公開予定）

●D&DEPARTMENT PROJECT（ディアンドデパートメントプロジェクト）

2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。国内外に10店舗(北海道店、埼玉店、東京店、富山店、京都店、鹿児島店、沖縄店、韓国ソウル店、韓国チェジュ店、中国黄山店)を展開。47都道府県に1か所ずつつくりながら、全国的な規模で「息の長いその土地らしいデザイン」の発掘と紹介をしています。2012年、渋谷ヒカリエ8階に47都道府県の魅力を展示する日本初のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」をオープン。併設の「d47 design travel store」「d47食堂」と連動し、立体的に日本を伝える新しいスタイルを創造。物販、飲食、出版、観光を通して、47の日本の“らしさ”を見直す活動を展開しています。 www.d-department.jp

—本件に関するお問い合わせ—

D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 pr@d-department.jp